

福岡市議会改革 市民検証委員会
勉強会 第1弾

古賀市議会における 議会改革の経験 市民の声が原動力

市民の行動

議員の活動

議長の構想

2017年7月17日（月）

古賀市議会議員 奴間健司



その1 現在のすがた

その2 20年余の前史

その3 市民の声

その4 ビデオレター上映

その5 議会改革の先に

きょう、お話しさせて頂くテーマ
縦糸は「市民の役割」です

その1 現在のすがた

早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度 ランキング

古賀市議会の
評価の推移です

2014年、2015年度、
2016年度
3年連続で九州・沖縄で
第1位の評価

早稲田大学マニフェスト研究所・議会改革度調査結果の推移						
福岡県古賀市議会						
	総合順位	内訳順位			議長	主な出来事
		情報共有	住民参加	機能強化		
2011年度	277	298	160	423	矢野治男 奴間健司	議会基本条例等調査特別委設置
2012年度	594	762	512	527	奴間健司	インターネット議会中継開始 海外視察費減額修正
2013年度	312	373	630	265	奴間健司	深夜花火規制条例 議会基本条例可決 保育所新設補助減額修正 会議規則の改正
2014年度	32 (九州沖縄 で1位)	55	91	39	奴間健司	小中学生の議場での作文発表 議会基本条例施行 押しボタン表決システム導入 初の議会報告会 災害対応要綱・マニュアル 議会事務局体制強化の要望書 政務活動費収支報告公開 看護大学パートナーシップ協定 予算特別委インターネット中継 議会報特別委を常任委員会化
2015年度	27 (九州沖縄 で1位)	23	86	62	奴間健司 結城弘明	小中学生の議場での作文発表 インターネット中継対象拡大 政策推進会議政策テーマ発表会 議会報告会
2016年度	49 (九州沖縄 で1位)	58	85	128	結城弘明	議会報告会 公共交通実車調査、アンケート 調査（994件回答）

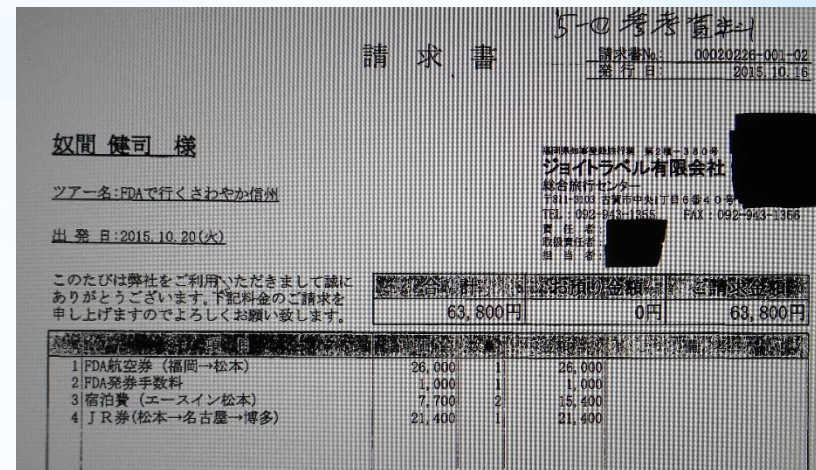
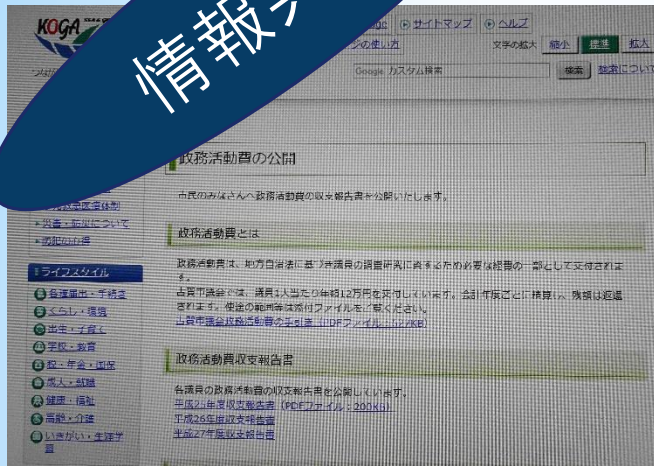
情報共有

住民参加

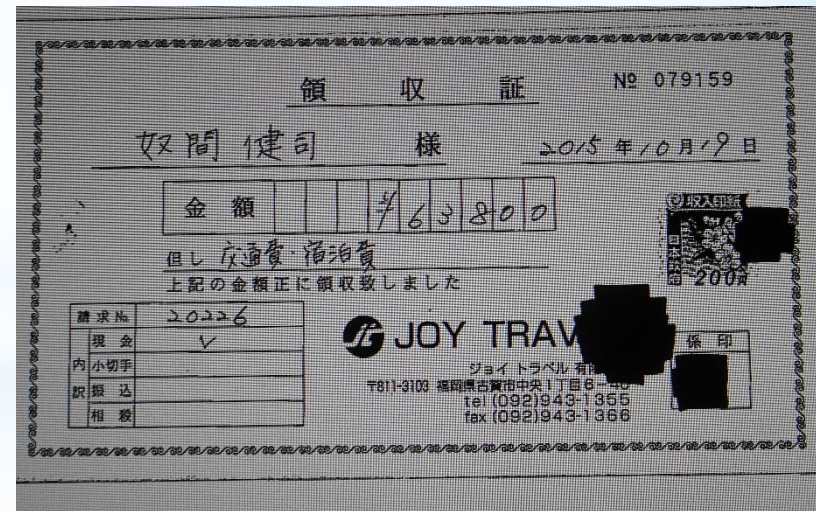
機能強化

政務活動費の収支報告をインターネット公開しました (2015年1月21日)

情報共有



古賀市議会は
ランキング2位



2013年2月・政務活動費交付条例の全部を改正
使途範囲を拡大せず、議長による透明性確保義務も明記

2014年度分から領収書・収支報告・調査報告をインターネット全面公開へ

2015年度 視察に来ていただいた議会

- ① 熊本県大津町議会 (7月7日)
- ② 愛知県小牧市議会 (7月9日)
- ③ 埼玉県川越市議会 (8月19日)
- ④ 愛知県知多市議会 (11月5日)
- ⑤ 大分県竹田市議会 (11月5日)
- ⑥ 京都府向日市議会 (11月10日)
- ⑦ 群馬県渋川市議会 (11月10日)
- ⑧ 長崎県対馬市議会 (11月12日)
- ⑨ 兵庫県たつの市議会 (11月13日)
- ⑩ 奈良県生駒市議会 (1月26日)
- ⑪ 埼玉県行田市議会 (1月29日)
- ⑫ 京都府長岡京市、向日市 (2月8日)
- ⑬ 千葉県袖ヶ浦市議会 (2月10日)
- ⑭ 滋賀県彦根市 (2月15日)



視察時の説明の様子

2016年度の視察

- ① 4月28日 (木) 糟屋郡志免町議会
- ② 5月9日 (月) 糟屋郡宇美町議会
- ③ 5月18日 (水) 大分県津久見市議会
- ④ 7月13日 (水) 大刀洗町議会
- ⑤ 10月11日 (火) 神奈川県厚木市議会
- ⑥ 10月17日 (月) 茨城県下妻市議会
- ⑦ 11月1日 (火) 広島県東広島市議会
- ⑧ 11月16日 (水) 長崎県壱岐市議会
- ⑨ 11月17日 (木) 茨城県石岡市議会
- ⑩ 11月18日 (金) 愛媛県西予市議会
- ⑪ 2月2日 (木) 千葉県成田市議会
- ⑫ 2月7日 (金) 大阪府泉大津市議会
- ⑬ 2月15日 (水) 徳島県小松島市議会

2017年度の視察

- ① 4月13日 (木) 富山県小矢部市議会
- ② 5月31日 (水) 鹿児島県志布志市議会
- ③ 7月13日 (木) 三重県名張市議会
- ④ 7月27日 (木) 香川県三豊市議会
- ⑤ 8月3日 (木) 島根県浜田市議会
- ⑥ 8月7日 (月) 埼玉県越谷市議会
- ⑦ 10月5日 (木) 山形県南陽市議会
- ⑧ 10月24日 (火) 愛知県東海市議会
- ⑨ 10月25日 (水) 山形県長井市議会
- ⑩ 1月25日 (木) 大阪府北摂市議会議長会

● 定例会の記録と課題メモ
● 議会改革の継続の努力は続く
● 議会運営委員会に提出

2017年第2回定例会の経験のまとめ

2017年7月12日(水) 議運にて
会派・希来里 奴間健司

(1) 全体的なまとめ

- ①まちづくり基本条例(案)に対し総務委員会修正案と議員提案修正案が提出された。いずれも否決され、賛成多数で**原案可決**となった。(施行は今年4月1日に遡ることになる)
- ②2017年度一般会計補正予算は議会基本条例施行後、初めて**委員会付託を省略**した。これは適切妥当だったか検証が必要だ。(ふるさと応援寄付に関する膨大な業務量が判明)
- ③繰越明許に関連して、古賀駅東口開発に関するURとの基本協定締結問題を取り上げた。(これまでの業務委託との関連は課題になる)
- ④一般質問で中村隆象市長が**初めて反問権**を行使した。(反問権の内容は課題を残した)

(2) 初日の本会議(6月6日)

- ①市長が職員逮捕について「お詫び」
- ②「平成28年度財政援助団体監査報告書」(社会福祉法人 古賀市社会福祉協議会)に関する質疑(内場、吉住、奴間)
- ③閉会中の所管事務調査報告(文教厚生委員会)に対し奴間が質疑した。「出生率について」
- ④第4号議案(まちづくり基本条例) 審査結果報告で総務委員長が「修正議決」と発言。「修正可決」が正しいのではないか。
- ⑤本会議終了後に全員協議会を開催。市長が職員不祥事について説明。内場、岩井、奴間、高原、伊藤が質疑。

(3) 二日目の本会議(6月12日)

- ①大綱質疑。奴間が3点質疑した。(1)報告第2号 平成28年度古賀市一般会計予算の繰越明許(「まちづくり推進事業費」769万円)について・・・URとの基本協定に絡めて市長の見解を求めた(2)第39号 平成29年度古賀市一般会計補正予算(第1号)について「ふるさと愛護事業費」の123万2千円について大綱質疑。(3)第41号 通信回線を用いた電子計算機の結合について

(4) 会期中の常任委員会

- ①市民建産委員会(6月15日・議員傍聴8人)
・市税条例、・工事請負契約(市民建産付託の意義)、・オンライン結合(農地情報、4月)

(5) 一般質問(6月19日に5人、20日に5人、21日に3人)

- ①内場議員の「給食無償化問題」で市長が初めて反問権を行使した。本来は無償化の財源について反問すべきである。また、教育総務課長が発言訂正を行った。
- ②村松議員の「減便影響調査」について総務部長は西鉄のOD調査結果の時期について曖昧な答弁をした。
- ③伊東議員の「コナミ問題」で教育部長は予算特別委での横田副市長答弁と異なる答弁をした。
- ④奴間の不祥事問題に関する「記者会見問題」で市長は定期的に記者会見を行っているかと答弁した。正式には「記者懇談会」であり、4月、5月の記者懇談会では職員不祥事に関する資料は配布されていない。書画カメラ使用中に不要な表示が出た。再発防止が可能かどうか?
- ⑤中村市長は公共交通問題で答弁の一部(「足」発言)を訂正した。議長の再開口述⇒市長の発言訂正⇒議長の再開口述は課題を残した。(会議録では2回目の発言は削除されている)
- ⑥21日には松島議員が病欠欠席。また、森本議員が奴間の一般質問の直前に退席。議長からは「早退」との口述はなかった。またモニターの議員数は18人のままだった。(会議録では17人となっている)途中で欠席する場合は議長に報告し、議長はその旨を口述し出席議員数を訂正させることが必要。今回はどこに問題があったのか議長に説明を求めたい。

(6) 最終日の本会議

①4号議案の審議について

- ア) 議員提案修正案の趣旨説明(奴間)と質疑(岩井議員)
- イ) 討論

伊東議員(議員修正案に対する賛成討論) 森本議員(総務修正案に対する賛成討論)
内場議員(議員修正案に対する賛成討論) 清原議員(議員修正案に対する反対討論)

※地方自治法96条の第2項で「議会の議決すべきもの」を条例で定めることができる。まちづくり基本条例で「基本計画」を議決すべきものに定めることは全く問題がない。議会基本条例で基本構想のみを議決対象にしているからそれに合わせたという市長見解こそ問題。まちづくり基本条例で改めて議決対象を拡大すべきであった。もしそうなれば、議会基本条例を改正すれば良い。

ウ) 採決

議員提案修正案の採決 賛成6、反対12で否決
総務修正案の採決 賛成7、反対10で否決

清原議員の「休憩動議」⇒採決(反対2、賛成16)⇒議題にすることなく休憩

※この手続きは正しかったのか検証が必要である。要件を満たした上で、動議が成立すれば議題になる。そこで提案理由の説明がなされるべきだった。

傍聴者やインターネット中継を見ている方々には極めて**不透明**であった。

副議長が動議を出すなら、事前に相談し議長の議事整理権で休憩する方法もあった。

原案の採決 賛成14、反対4で可決

- ②第37号議案 内場議員が反対討論 ③一般会計補正予算 質疑(奴間、村松)・採決
- ④本会議終了後の全員協議会で議運の答申内容に基づき「議会版BCP」を了承した。

- (7) 市長に対する指摘事項 定例会後の市長との協議の場で以下の点を求めていただきたい。
ア) 職員の不祥事など社会的に影響の大きい問題が発生したときは**記者会見**を行って説明責任を果たすこと。市長は、「記者会見を毎月1回定例会で行っており」、「違法取水と職員の不祥事事件については、定例の記者会見の中で記者とのそれ相応のやりとりは行っている」と答弁したが、「記者懇談会」であり、やりとりの記録・資料もないことから正確ではない。**事実に基づいた正確な答弁**をするよう強く求めていただきたい。
- イ) **URとの基本協定締結**については全員協議会で説明し質疑を受けるべきである。

(8) 今後の議会運営に対する提案

- ①常任並びに特別委員会の**委員会録をホームページにアップ**することは今年度中に実現することを改めて強く求める。
- ②議員全員に対する連絡は**メールでの一斉送信**を基本とするよう求める。暗証番号が付加された理由の説明を求める。
- ③**議会費予算案**について2018年度予算では以下の点を盛り込むこと。
ア) 議会報発行事務費をおこすこと イ) 議会報告会開催事務費をおこすこと
ウ) 政策推進会議関係費をおこすこと
※議会費予算事務局案については毎年まとまった段階で議運に報告すべきである。
- ④**議会事務局庶務規程**に議会報告会、政策推進会議、災害対策会議などを追加する改訂を行うとともに、議会事務局を議会局に改めることを検討すること。
- ⑤その他
※**傍聴規則の見直し**(傍聴の手続き)第2条「・・・自己の住所及び氏名を傍聴人受付票に記入し、・・・」の削除
※**委員会条例の見直し**(傍聴の取扱い)第18条「委員会は、議員のほか、委員長の許可を得たものが傍聴することができる」の削除
- ⑥朝倉市、日田市に対する義援金について早急に取り組むこと。

「総合振興計画の策定義務」、「議会・議員の責務」は将来の修正テーマを提示できた。

総務修正案の問題点は研究課題である。継続審査とした論点を熟議したか、市民定義が何故必要か、議会は住民票を有する市民の声だけを反映するのか等。

その2 20年余の前史

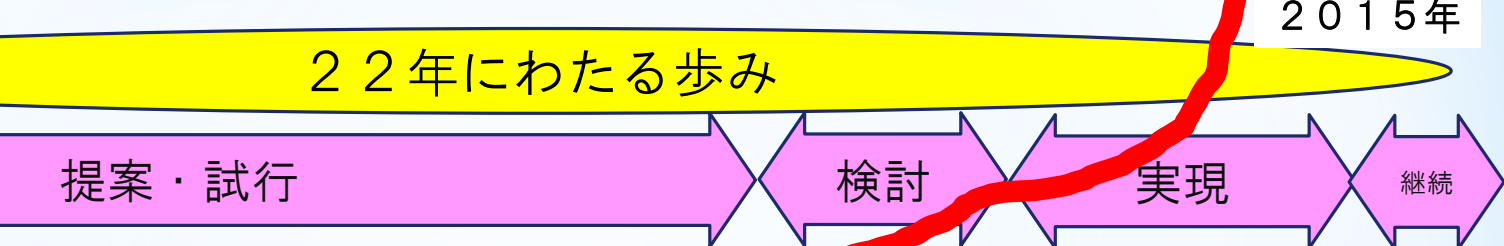
議会改革の前史

- スミチオン空中散布中止
- 学童保育所の実現
- フランス村疑惑の請願



奴間 9
松島 7
西尾 2
内場 1

- 市制施行を前後する改革の模索
- 「議会だより」の発行
- 議会閉会中の所管事務調査
- 一日一委員会の開催
- 議長裁量による一問一答



コロツケの「母さんのあおいくま」
 あ：あせるな
 お：おこるな
 い：いばるな
 く：くさるな
 ま：まけるな

福岡県地方議員交流会（1996年～）

● 議員8人の申し入れ
 （1995年9月）

1997年

古賀町から
古賀市へ

● 議会だより創刊
 11月

● 議員6人の申し入れ
 （2003年6月）
 議会交際費公開、委員長報告配布など

1995年

- 活性化特別委や議運による検討の着手
- 議会基本条例の視察研修、三重県議会事務局次長の研修会
- 「基本条例は、来期の重要な検討課題」

2011年

- 日経新聞、早稲田大学マニフェスト研究所の評価
- 看護大パートナーシップ
- 防災要綱、マニュアル策定
- 議会基本条例、議会報告会
- インターネット議会

▼ 議会改革継続の努力は続く
 ▼ 議会報告会の継続
 ▼ 政策推進会議のこれから

前史

1995年9月14日

議案採決を最終日にすること、一般質問持ち時間制を提案

議会運営に関する申し入れ書

我が町の人口も5万人を突破し、来る10月1日の国勢調査の結果が出れば、市制施行への法的条件をすべてクリアすることになります。

住民の意識も町民から市民となれば大きく変化するでしょうし、我々議員もそんな住民の負託に応えられるよう、率先して近代的・民主的な議会運営に努めていかねばなりません。

議会の権威を高め、住民の意志がより一層反映される議会となるために、以下の2点の改善を申し入れます。


記

- 1、我が町議会での議案審議は、例外的な議案を除き、初日に議案上程から趣旨説明・質疑・討論・採決まで全部終わらせています。議案審議がより慎重に進められるように、初日は趣旨説明と大綱質疑にとどめ、すべての議案は考案日を設けるものとし、採決は最終日とするよう申し入れます。
- 2、一般質問に与えられている時間の中には執行部の答弁の時間も含まれています。答弁の長さに関係なく、質問者が与えられた時間を十分に政策論争ができるように、質問者の発言時間のみが計られるよう申し入れます。

平成7年9月14日

高原正議長殿


賛同者


藤岡政春 

細島育代 

新町直子 

奴間健司 

仲道誠明 

清原留夫 

矢野順右 

菅野 一 

22年前
議会改革の一步が記された

前史

1996年9月の申し入れ 議会だより、一般質問の第一答弁書 一般質問通告書の傍聴者配布を提案

古賀町議会議長
高原 正 殿

議会運営に関する申し書

今日の社会は政治・経済・文化など、あらゆる分野で急激な変化を遂げています。
我が町議会においては今年、より民主的・近代的な運営を図るため、一般質問と会期日程について改善されました。これにより議案の慎重審議や、議会の活性化に相当の効果をあげていることは周知の事実であります。
しかし国際化・情報化・高齢化と更に変革が進む中で、住民の負託に応え得る議会を目指すとき、尚一層の改善が求められていると思料致します。
以上の観点から下記の3点について検討されるよう申し入れます。

記

- 1 県下、古賀町規模の自治体では、『議会便り』を殆ど発行しています。
住民の方々に議会の審議内容をきちんと知らせるのは、当然の責務と考えますので、平成9年3月議会から、『議会便り』を発行するよう申し入れます。
- 2 一般質問は事前の通知を受けて、執行部は当日答弁を用意しています。
議員と執行部が、対等の土俵で政策論議ができるように、一回目の答弁の概要を事前に質問者に提示されるよう要望致します。
- 3 一般質問日の傍聴者に渡す資料には、質問項目しか記入されておりません。
傍聴者が、もっと議場での論議を理解できるような資料の提供を要望致します。

平成 8年 9月 日

賛同者

矢野 順 志

藤 玉 政 春

篠 崎 秀 人

細 島 音 代

新 町 直 子

奴 間 健 司

仲 道 誠 明

清 原 留 夫

前半

主な流れ

模索

改革の模索 市制施行（1997年）を契機に

- 「議会だより」の発行
- 議会閉会中の所管事務調査
- 一日一委員会の開催
- 議長裁量による一問一答

検討

検討の着手 活性化特別委（2010年）や議運

- 議会基本条例の視察研修、三重県議会事務局次長による研修会
- 特別委最終報告「基本条例は、来任期における重要な検討課題」

実現

議会改革の実現 2011年5月の新体制発足による

- 議会基本条例策定を掲げた議長の所信表明
- インターネット中継、議会基本条例の施行、改革度九州沖縄1位
- 災害対応要綱や看護大学とのパートナーシップ協定

定着

議会改革の定着・継続 2015年5月以降の今期

- 改選後の新たな体制による議会改革の定着、継続
- まち・ひと・しごと地方創生への対応
- スマホ、iPad対応

前半

前期議長（奴間健司）就任の所信表明（2011年5月）

第1に、魅力と誇りある古賀市を目指す。古賀市の持てる特徴を最大限に生かし、市民の皆様の幸せ、環境、福祉、子育て、教育、そして産業振興など魅力あるまちづくりを実現するため、議会として19名の議員全員で積極的に役割を果たすよう努力する。

第2に、開かれた議会の充実を目指す。議会だよりの充実や議会のインターネット中継、録画の配信、議会ホームページの充実、議会主催の報告会の開催、市民が傍聴しやすい環境整備に取り組む。

第3に、議会の役割を発揮するために努力。議案に対する活発な質疑、決算審査の充実と予算や施政方針への反映、各常任委員会における所管事務調査と提言、各種団体との意見交換等の充実に取り組む。議会全体での研修会、議会基本条例の制定や第4次総合振興計画の策定について取り組む。

第4に、民主的な議会運営。日ごろからの議員同士のコミュニケーションに加え、議員連絡会の定期開催、必要に応じた会派代表者会の開催、正副議長と事務局との定期的打ち合わせなどに取り組む。

第5に、議会事務局の充実。議会事務局の職員が仕事をしやすい環境整備に配慮し、議員の調査研究活動、政策づくりなどに対するサポート体制の充実に向けて配慮する。

前半

前期4年間の主な取り組み

- ・ 政務活動費条例
- ・ 会議規則改正
- ・ 深夜花火規制条例
- ・ 予算減額修正

2011年5月

2012年5月

2013年5月

2014年4月

インターネット中継検討

中継実現

議場モニター、委員会室カメラ

議会基本条例検討・可決

施行準備

施行・自由討議

検討に2年間
施行準備に8か月

補正特別委、発言通告制、ボタン表決

8回 議員全員を対象とする研修会実施

500回 式典、イベント、各団体総会等での議長挨拶

200回の正副議長局長定例会議、月1回の議員連絡会

定例議会の前後に市長、副市長との協議の場

7月
初の議会報告会

災害時議会対応要綱

パートナーシップ協定

3月予算特別委の中継
議会報編集常任委員会

その3 市民の声

古賀市議会
議会傍聴アンケート、傍聴者数

年	定例会	アンケート数	傍聴者数
2016年	3月定例会	5枚	42人
	6月定例会	11枚	63人
	9月定例会	7枚	64人
	12月定例会	8枚	55人
2017年	3月定例会	6枚	48人
	6月定例会	4枚	49人

6月定例会	開催日	傍聴者数	アンケート
初日	6月 8日	2人	0枚
2日目	6月12日	0人	0枚
一般質問13人	6月19日	8人	0枚
	6月20日	13人	0枚
	6月21日	19人	4枚
	6月26日	7人	0枚
最終日	6月26日	7人	0枚



議会傍聴アンケート



◎議会傍聴ありがとうございました。

今後の議会運営などの参考にさせていただきたいと思いますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

- 傍聴に来られた感想はいかがでしたか？
⇒ よかった ・何ともいえない ・よくなかった
- 「こが市議会だより」はいかがですか？
⇒ ・たいへんよい まあまあだ ・よくない ・読んでいない
- 傍聴に来られてのご意見、ご質問等どんなことでもご自由にご記入ください。



議員は途中から退席されました。出席議員数が18名
になっていました。
どうなのか？というのが、議員が議会に放棄するとは、
職員倫理と同様、議員としての倫理、~~責任~~責任
どうなのか？
議長はしっかり責任をとって、どうして退席されたのか、説明責任を求め、
議長以下全員（議会報では）
gikai@city.koga.fukuoka.jp

市議会に回答を求められる方は、ご連絡先をご記入ください。（必要のない方は無
記名で結構です。回答は「議会だより」に掲載することもあります。）

お名前 議会中の議員の夫 電話

ご住所 議会報2期分以下に、3月14日に1回、議会だより、
とんぼ

傍聴手続きをされたカウンター入口に設置している【アンケート回収箱】
にお入れ下さい。ご協力ありがとうございました。

なお、後日 FAX で送信していただいても結構です。FAX 942-11



議会傍聴アンケート



◎議会傍聴ありがとうございました。

今後の議会運営などの参考にさせていただきたいと思いますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

- 1. 傍聴に来られた感想はいかがでしたか？
2. 「こが市議会だより」はいかがですか？
3. 傍聴に来られてのご意見、ご質問等どんなことでもご自由にご記入ください。

Handwritten response regarding public transportation and local issues.

市議会に回答を求められる方は、ご連絡先をご記入ください。(必要のない方は無記名で結構です。回答は「議会だより」で掲載することもあります。)

お名前 _____ 電話 _____
ご住所 _____

傍聴手続きをされたカウンター入口に設置している【アンケート回収箱】にお入れ下さい。ご協力ありがとうございました。

なお、後日 FAX で送信していただいても結構です。FAX 942-1160



議会傍聴アンケート



◎議会傍聴ありがとうございました。

今後の議会運営などの参考にさせていただきたいと思いますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。

- 1. 傍聴に来られた感想はいかがでしたか？
2. 「こが市議会だより」はいかがですか？
3. 傍聴に来られてのご意見、ご質問等どんなことでもご自由にご記入ください。

Handwritten response regarding public transportation and local issues.

市議会に回答を求められる方は、ご連絡先をご記入ください。(必要のない方は無記名で結構です。回答は「議会だより」で掲載することもあります。)

お名前 _____ 電話 _____
ご住所 _____

傍聴手続きをされたカウンター入口に設置している【アンケート回収箱】にお入れ下さい。ご協力ありがとうございました。

なお、後日 FAX で送信していただいても結構です。FAX 942-1160

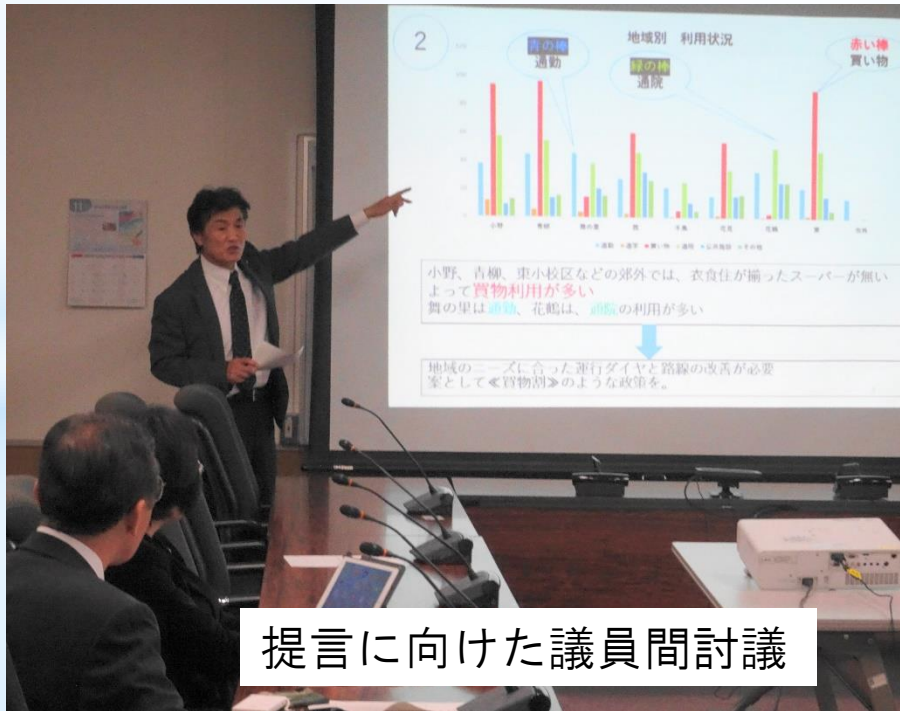


市民の声

政策推進会議全体会の様子
市民の声をもとに提言に向けて
議員間の討議を積み重ねました



政策課題の発表会



提言に向けた議員間討議

議会基本条例・第13条

- 市政に関して重要なものについて、議員間で共通認識及び合意形成を図り、政策立案を推進するため、**政策推進会議**を開催することができる
- 提言として取りまとめたものについて市長等に報告することができる

政策推進会議運営要綱

- (所掌事務) **政策課題**の決定、**調査研究**の実施、**政策的条例案**の策定、市長に対する**政策提言**の報告
- (役員会) 副議長及び各会派から選出された者で役員会を置く。
- (役員会の所掌事務) 政策課題の募集及び選定、政策課題発表会の企画及び実施、議会報告会を受けた政策課題の発意、緊急性および必要性が高い政策課題の発意

市民の声

全議員による現状調査

2016年8月上旬

全議員が市内の路線バスに乗車して現状調査を行いました。



バス乗務員から説明を聞きました



バスの中でアンケートに記入する高校生



乗客から直接聞き取りもしました

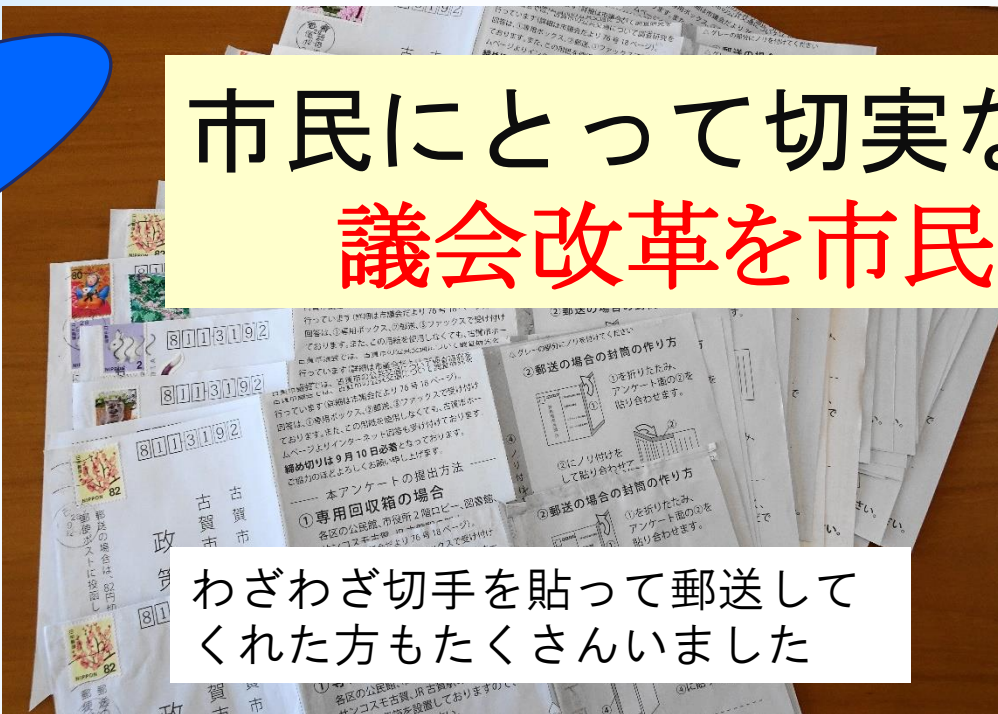


朝夕は通勤・通学が多かったです

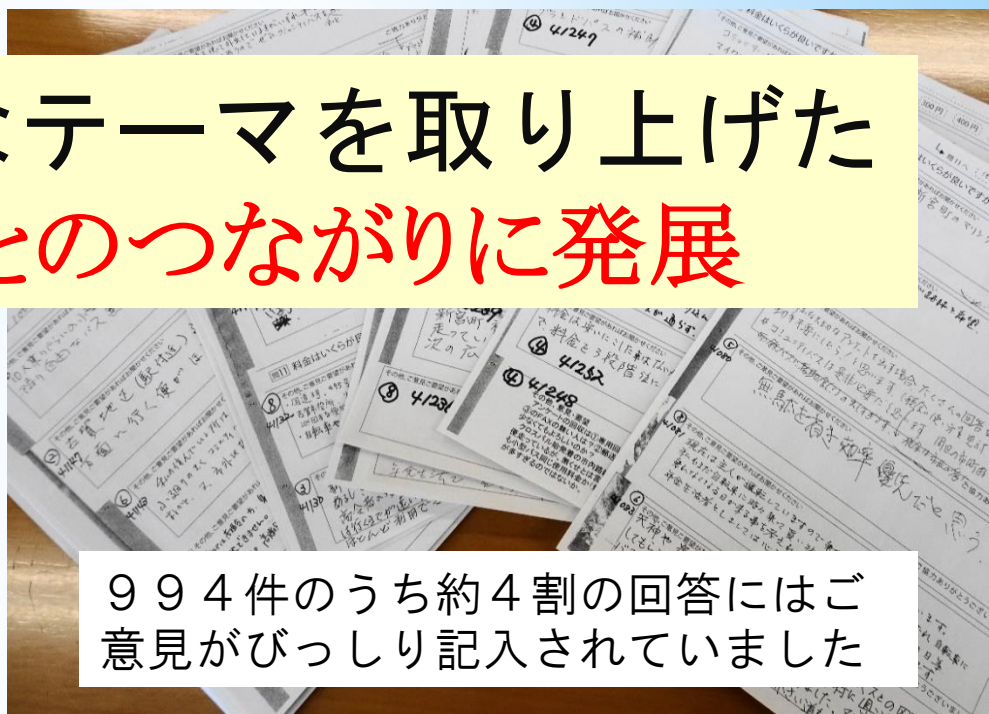
市民の声

市民にとって切実なテーマを取り上げた 議会改革を市民とのつながりに発展

2016年8月～9月10日
公共交通に関するアンケート
私たちの予想を遥かに超える
994件の回答が寄せられました



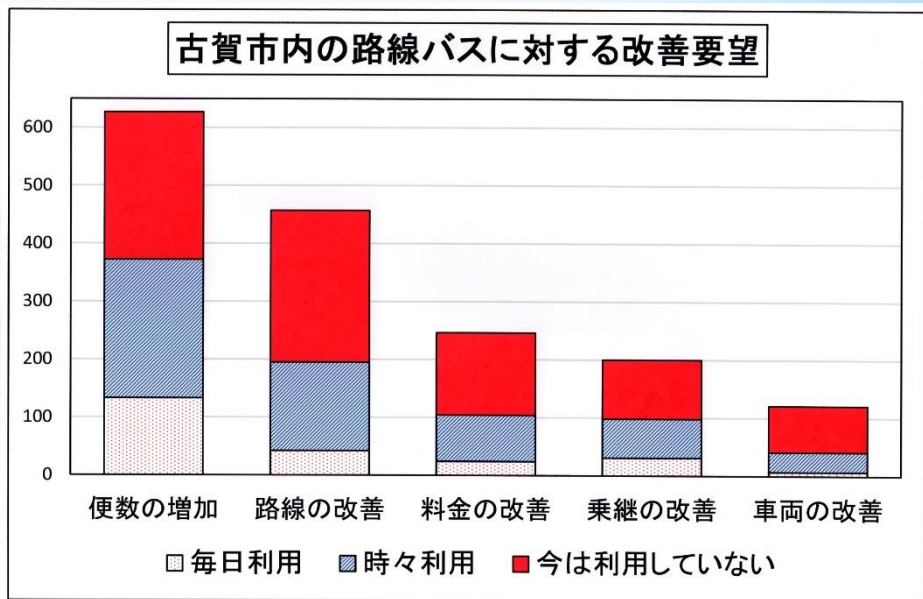
わざわざ切手を貼って郵送してくれた方もたくさんいました



994件のうち約4割の回答にはご意見がびっしり記入されていました



994件の回答をパソコンで集計



市民の声

決議

提言

3. 最終報告・提言に当たって

今回最終報告・提言するにあたり、その意義と今後の考え方について述べる。

① 議会の取組結果を市民に報告する意義

994件という多くの回答をいただいた。その期待の声に誠実に応えるため、この「最終報告と提言」をもって市民の皆さんへの議会として説明責任をはたそうという意義である。

② 議会として継続して調査・研究するための成果物としての意義

今回の「最終報告と提言」を平成29年度のバス運行に活かすことを求める。さらに、調査・研究の結果を平成30年度古賀市における公共交通のあり方に反映されることをめざしたい。

③ 執行部に対し、市民、議会の意見を伝える意義

- 平成29年度の公共交通のあり方に活かすことを求める。特に、利用者離れにつながり悪循環をまねきかねない減便については慎重な取り扱いを求める。また平成29年度から協定先が変更されることの影響を注視したい。
- さらに、平成29年度中には議会と執行部がキャッチボールをしながら今後の公共交通体系を検討することを求めたい。この「最終報告と提言」がそのための共通認識の基礎になることを期待する。

最終報告・提言のまとめ部分
(2017年3月2日提出)

第14号議案 平成29年古賀市一般会計予算についてに対する決議

平成27年から政策推進会議において「公共交通」について、2年間にわたり、そのあり方について調査検討を重ね、3月9日に最終報告と提言を市長に渡した。

平成28年の夏にはバスの実車調査とアンケートを実施。994人の方々から切実な声が寄せられました。それによると、料金よりも、バスの増便や路線改善を求める声が非常に多いことがわかり、平成29年度予算で示された減便計画は、市民の望むものではなく、市民生活においてさらに不便を強いるものである。

高齢化が進み、高齢者による交通事故の多発、公共の場での市民のことを鑑み、スピード感をもって業務遂行の確保を願うものである。

そこで、市長に対し以下の点を実行されることを求める。

- 古賀市議会政策推進会議が提出した、市内公共交通に関する提言は、福祉的、教育的視点のみならず、マイカーの利用を減らし、地域温暖化の原因である二酸化炭素の発生量の抑制にも通じるものである。未来に継承していくべき地域循環型社会の推進方策でもあるとの認識に立ち、最大限にこれを尊重し施策に誠実に反映されたい。
- 平成29年第1回定例会が開催された2月27日後、3月8日に配布された資料要求により明らかとなった、平成28年度比7便の減便による利用者にもたらす影響を、平成29年度の早い時期に極力回避、もしくは代替する措置を講じること。
- 7系統別基幹交通を補完する、市内全域における代替交通の運行等を願望する切実な市民の声に寄り添い、この施策の検討実現にスピード感をもって業務遂行、市民への事前周知には万全を期すこと。

以上、決議する。

平成29年3月27日

古賀市議会

一般会計予算に対する「決議」
(2017年3月27日可決)

世論

西鉄 4月ダイヤ改正

西鉄が4月1日のダイヤ改正で古賀市内を走る路線バスを減便させたことに対し、これまで路線の改善や増便を求めていた市議会が不満を募らせている。3月定例会は西鉄への運行補助費約1千万円を計上した2017年度一般会計当初予算案を可決したものの、減便について、市民の利便性が損なわれ、利用者減になる」と反発の声が上がった。地域の高齢化が進む中、特に交通弱者の高齢者の足をどう守るのか、市は警察を頼る。(上野洋光)

補助金支出認め苦言「市民の声を反映を」

高齢者の足確保へ模索

バス路線の赤字補填を理由に組織統合の結果、運転手や労働協約が改善され、休職期間を長く確保する必要があり、減便になったと市議会は「利用離れにつながり、悪循環を招きかねない減便については慎重な取り扱いを求める」と苦言を呈した。今年3月に中村集市長に「利用者の声を反映させるべき」と苦言を呈した。市議会は「利用者の声を反映させるべき」と苦言を呈した。市議会は「利用者の声を反映させるべき」と苦言を呈した。

利用実態を調べ、利用者の声を聞いた買い物通院。通勤通学で日常的な利用客が8割を占め、特に高齢者の利用が多く、J、Rや国道3号を走るバスの接続、路線の改善や増便を求める声が多かったという。市議会は「利用離れにつながり、悪循環を招きかねない減便については慎重な取り扱いを求める」と苦言を呈した。今年3月に中村集市長に「利用者の声を反映させるべき」と苦言を呈した。市議会は「利用者の声を反映させるべき」と苦言を呈した。

西日本新聞報道
(2017年4月9日)

議会報告会

議会報告会の
流れ
対話の時間を
できるだけ
多く確保

2014年度	3会場	・	103人
2015年度	1会場	・	18人
2016年度	3会場	・	70人



各常任、決算、政策推進会議報告・25分

カフェ方式



各常任テーブルごとの対話・40分

全体質疑・15分

市民の声

議員 6 人で市民への報告ならびに意見交換会を共同開催
60 人の市民が切実な声を発表



バス減便直後に
市民の中へ

どうする公共交通! どうなるの? 西鉄バス

~4月1日からのバス減便の影響は~
市民と議員有志の意見交換会

とき 4月22日(土)

14時から15時30分
ところ 千鳥苑・大広間



- ・議会の取り組み報告
- ・平成29年度の西鉄バスの減便について
- ・意見交換会

参加費は無料です。
どなたでも参加できます。
ご意見をお聞かせください。
お待ちしております。

主催 公共交通を考える会

呼びかけ人 田中 英輔 古賀 誠視 伊東 洋子
奴間 健司 村松 謙二 内場 恭子

市民の声

市民から届いた切実な声

先日(4/4)古賀駅東口バス停で、突然声
かけられ、びっくりしました。
その日、話を聞いて頂いた良かったです。
時間があまりなくて、伝えたい気持ちが十分
伝わりませんでした。お手紙書かせて
頂きました。

今回、バスの時間が変更されたが、先日も
お話をさせて頂いた様に、東口よりグリーンパーク
までの時間、18:00の次が19:55というのは
あまりにもひどいと思います。

是非、ご検討下さい...

せめて、一時間以上はほしいです。

と申し望めたいです。日、祭日等と時間を
分けて、伺っても良いと思えます。

私も以前より小竹に住んでいます。交通の
手段はバスしかなくて、以前はタクシー利用で

大変でした。

昔、車を所有していた頃は、バスもなく、

今、特に高齢者の方には、運転免許証を
返却される方もいらっしゃる。

バスは、小竹に住んでいる人達にとり、唯一の
交通手段です...

朝の時間の事も話したいです。

7:20、39 (グリーンパーク→須賀神社着)

この時間もかなり何年かぶり、言ってきましたが
市役所もそのままです...

次に検討してほしいです。今回も伺っています。
お客様の事を思い、運転業務の負担の軽減、会社側の
条件は優先していただきたいです。

朝の8時の時間帯も、7:39を待たず、かなり
時間に余裕があり過ぎ、(1時間以上) 9:11まで
待たず、時間がなくて、バタバタです。渋滞に会い
バスが遅れると、遅刻です。

(飛車ではありません。その日一番のバス利用者です)

バスを利用しない方には、大した事では
ないと思いますが、今回、本当に深刻に考えます。

と、1つ、別件ですが、聞いて頂けませんか?
4/4(月)古賀市役所に行き、サコスマ行き、ニヤトル
バスに乗りたいと思っていたら、3乗車、運転を中止された。
サコスマに福祉タクシー券を受理に行き、乗ったが
その日...。4月10日の受理の日で、その前に
ニヤトルバスの運行を中止するのはどうかと思いました。
伺い様に、お車持のこともなく、高齢者も多いので、
歩いて下さいと言う事です。タクシー利用して下さい。
と言う事です。せめて、4月の1ヶ月間だけでも
運行に頂けたらと思います。

色々、話したら、お返事はありますが、

ぜひ、市民の気持ちを考え、行動に頂けると様
期待しています。

ご連絡ありがとうございます。

市民の声

議員 6 人で市民への報告ならびに意見交換会を共同開催
提言を具体化できるか正念場



議会基本条例で市民による政策提言と位置付け

●基本条例 第6条第4項

議会は、請願及び陳情を市民による政策提言と位置づけ、その審議において必要があると認める場合は、**提案者の説明および意見を聴く機会を設けることができる。**

請願審査

- ①所管委員会に付託
- ②紹介議員から願意の説明
- ③紹介議員に対する質疑
- ④請願者の意見陳述、質疑
(5分間で意見陳述)
- ⑤討論、採決

陳情

- ①陳情文をコピーして
全議員に配布
- ②議会だよりに記載

請願者の意見を正式に聞く機会を実現

請願・陳情



請願者

紹介議員

市民建産委員会
(2015年1月19日)



請願者

紹介議員

文教厚生委員会
(2016年9月5日)

- ① 紹介議員の説明と質疑 ⇒
- ② 請願者の意見陳述（5分以内）
- ③ 請願者に対する質疑 ⇒
- ④ すべて委員会録に記録

その4 ビデオレター上映

情報は「まちづくりのビタミン剤」

ぬまけんの古賀市に乾杯
ビデオレター

昨年12月17日に第1作

今日までに125本

延べ再生回数3万6千500回



その5 議会改革の先に

中村市長提案

後期基本計画重点プロジェクト
2017年～2021年

① 地域活性化プロジェクト

② 快適安心プロジェクト

③ 子どもすこやかプロジェクト

④ 暮らし支え合いプロジェクト

⑤ 生涯活躍プロジェクト

健康と地域 ビジョン

(奴間健司提案)

① 健康で安心して暮らせるまち

② 子育て、子育ち、若者の希望

③ にぎわいと活力・農商工連携

④ 防災・防犯・環境・平和

⑤ 文化・スポーツ・生涯学習

⑥ 計画的行財政運営・市民参画

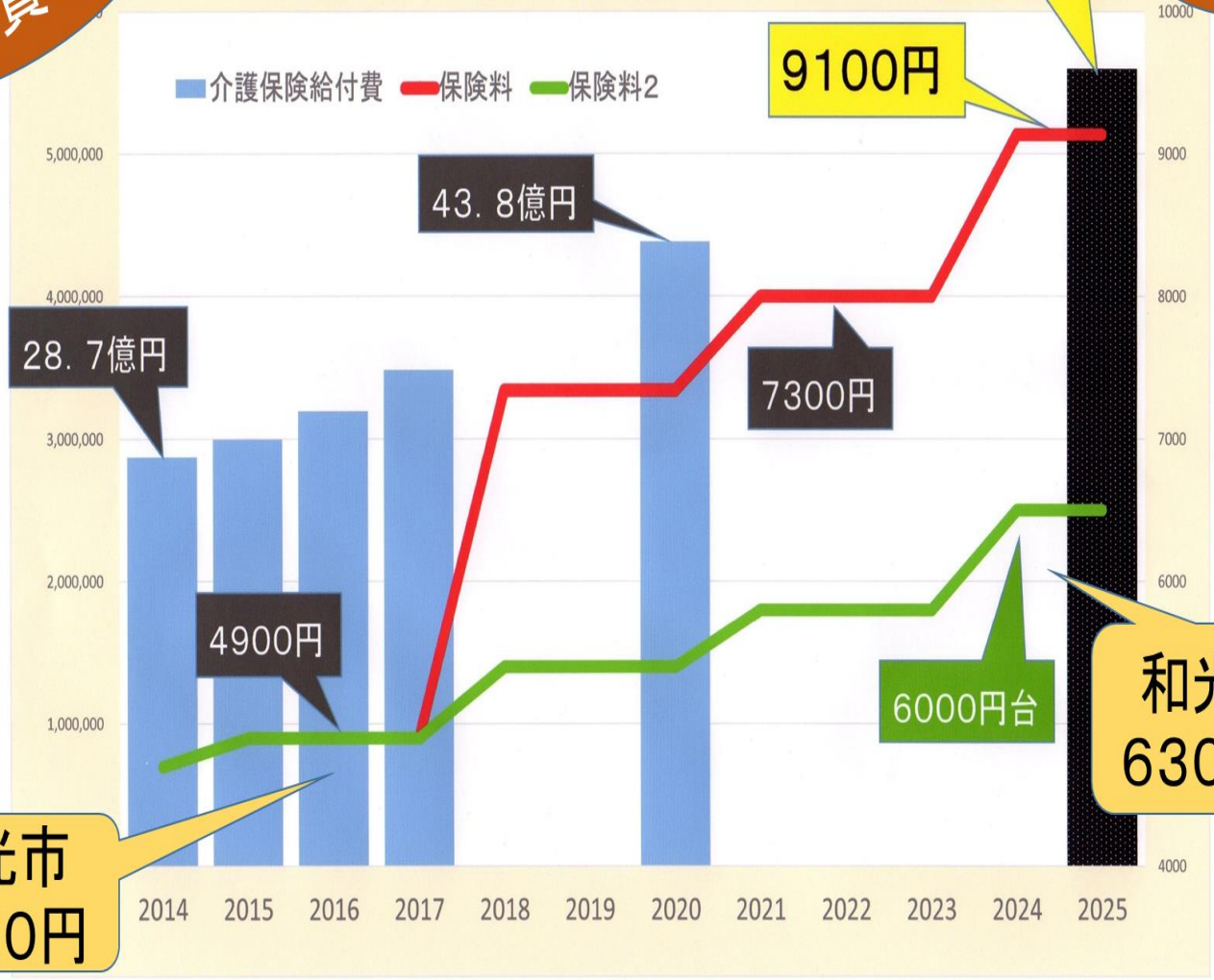
健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

- ①健康で安心して暮らせるまち
- ②子育て、子育て、若者の希望
- ③にぎわいと活力・農商工連携
- ④防災・防犯・環境・平和
- ⑤文化・スポーツ・生涯学習
- ⑥計画的行財政運営・市民参画

古賀市

介護給付費と保険料の推計

2025年
問題



和光市
4300円

和光市
6300円

健康と地域 ビジョン (奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育て、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

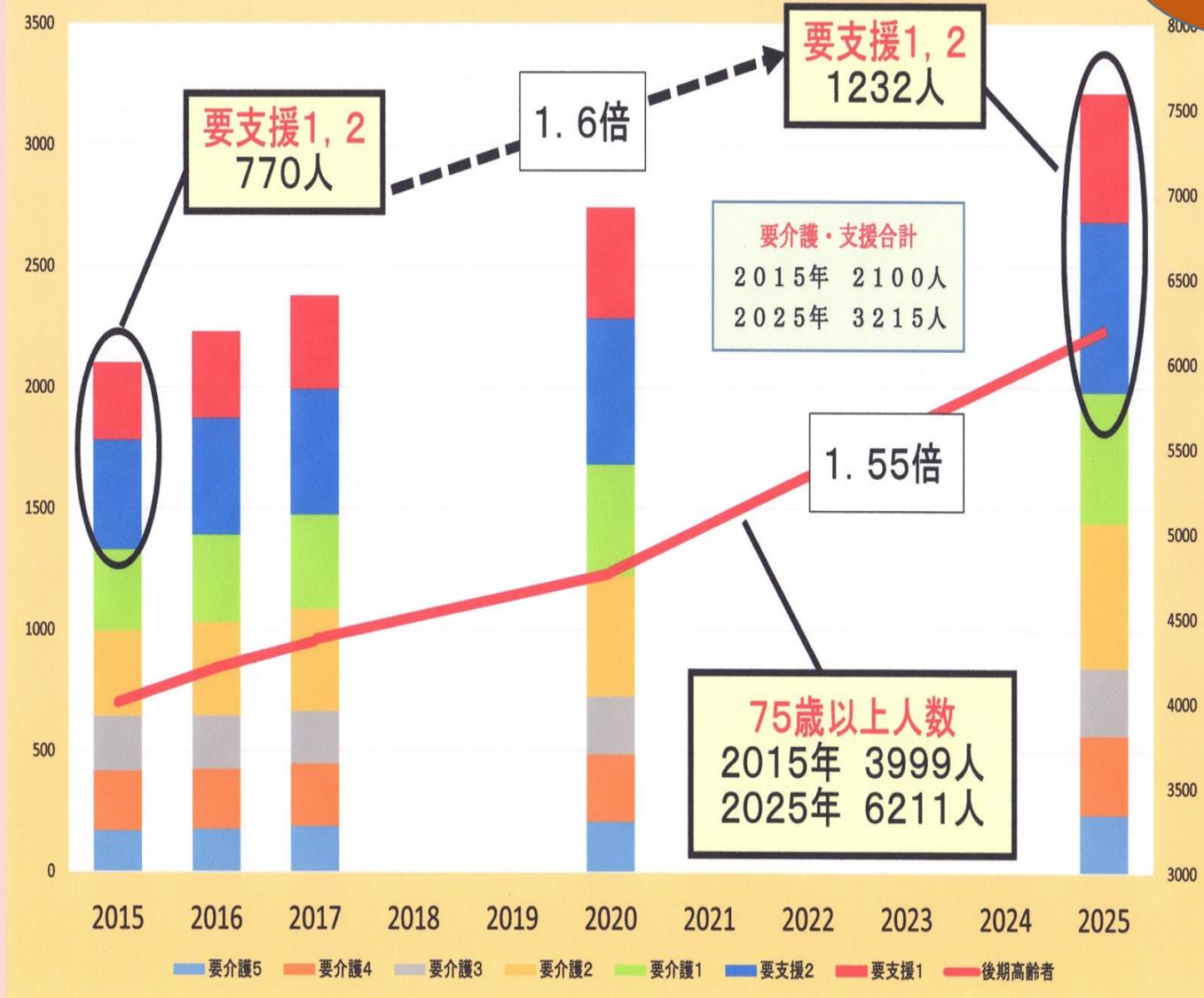
④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

2025年問題・古賀市の要介護・支援の人数推計

2025年問題



企業誘致
推進本部

健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育ち、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

市長をトップとする健康づくり推進本部
(司令塔)

2018年度から数年単位の重要計画
古賀市健康政策の根幹

第2次健康増進計画

特定健診等実施計画

食育推進計画

国保データヘルス計画

12ヶ所のヘルステ
設置・運営

特定健診受診率
35%達成

健康づくり推進協議会(有識者等15人、年4回)

健康づくり100人ワークショップ(年8回)

ぬま健司ビジョンの具体化



昨年9月に特定健診自己負担無料化を提言した。今年から半額になった。

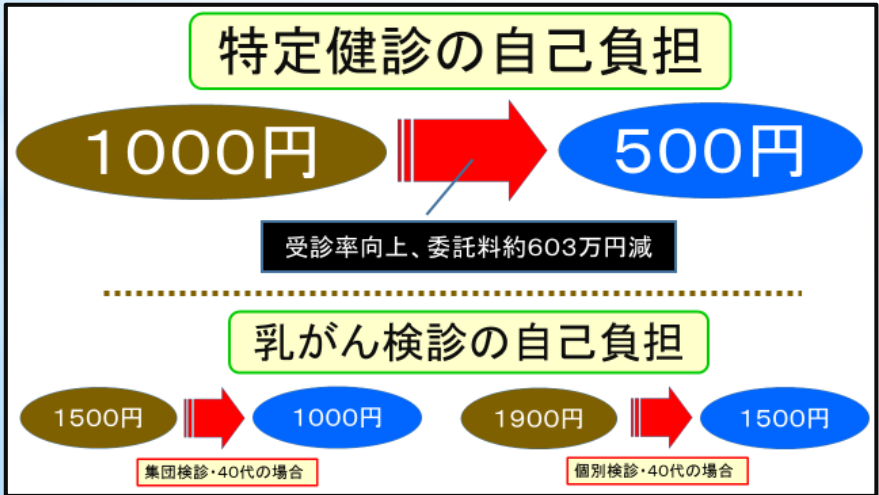
4つの健康づくり計画を策定するためには、市長をトップとする健康づくり推進本部が必要だ。

職員が検討し最適な方法を選択し、私が了承した。

今の段階で大幅に検討体制を変えることは考えていない。



3月21日の一般質問



古賀市は、厚労省が推進する「保健医療2035推進シティ」になりました

古賀市保健医療2035推進本部の設置について

◆目的
「保健医療2035推進シティ」とは、健康なコミュニティづくり、地域包括ケアシステムの推進を図る自治体で、福岡県内では、古賀市と福岡市の2自治体が、推進シティとなっています。
古賀市における健康なコミュニティづくり、地域包括ケアシステムのさらなる推進を図るため、保健・医療・福祉の取組の将来ビジョンを明確にし、2035年に備える戦略を立てる。

◆背景（2035年問題）

- 1980年（昭和55年）に12人に1人であった高齢者が、現在は4人に1人、2035年には3人に1人となる
- 病院での医療は急性期医療を中心としたものに（地域医療構型）
- 在宅で療養介護を要する人を、地域で支える受け皿づくり
- 若年層の健康問題（生活習慣病の若年化、予防対象範囲の拡大）
- 自治組織の互助・共助力の強化

◆推進本部の役割

- 将来を見据え、推進すべき施策の方向性を定める。
- 地域で展開している健康づくり、介護予防、地域福祉など各種施策の方向性の整合を図る。
- 市内の推進体制の在り方

◆平成29年度の協議内容

- 古賀市健康増進計画及び高齢者保健福祉計画の方向性について

保健医療2035推進本部が設置された市長が本部長（5月）

健康と地域 ビジョン (奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育て、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

特定健診・がん検診自己負担額

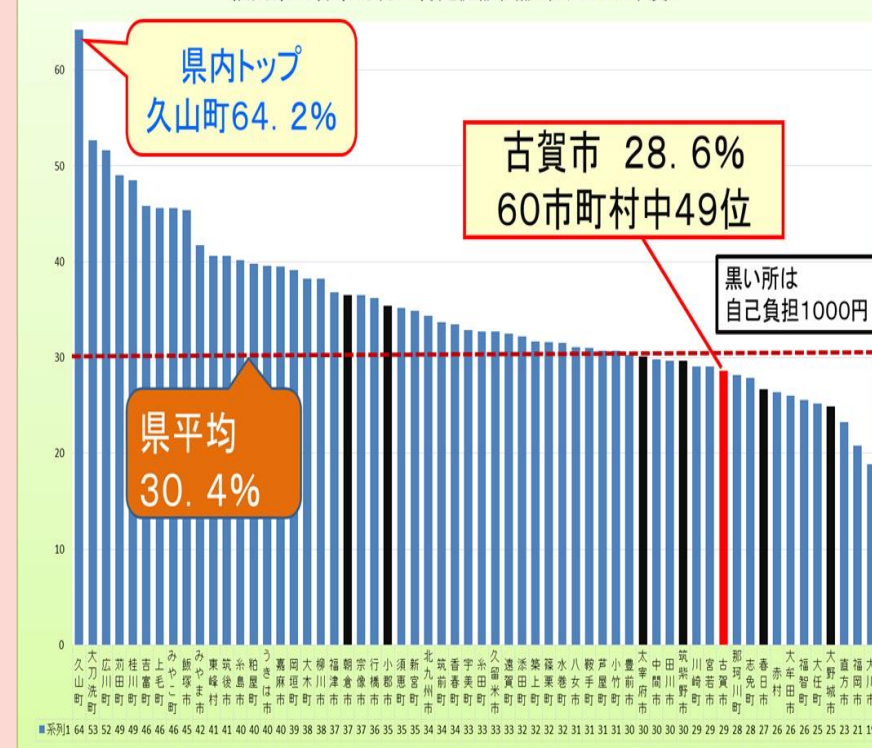
○集団健診自己負担

	年齢	H28	H29
特定健診	30~	1,000	500
胃がん	40~	800	500
	70~	400	200
大腸がん	40~	500	500
	70~	200	200
子宮頸がん	20~	600	500
	70~	300	200
乳がん	40~	1,500	1,000
	50~	1,000	500
	70~	500	200
肺がん	40~	400	500
	70~	200	200
肺がん+喀痰	40~	1,200	1,000
	70~	600	400
肝炎	41~	500	500
骨粗しょう症	節目	600	500

○個別健診

	年齢	H28	H29
特定健診	40~	1,000	500
大腸がん	40~	500	500
	70~	200	200
子宮頸がん	20~	1,600	1,000
	70~	800	500
乳がん	40~	1,900	1,500
	50~	1,600	1,000
	70~	800	500

福岡県内各市町村の特定健診受診率(2015年度)



2016年12月議会で特定健診の自己負担軽減を提言

その他委託料(がん検診など) 2665万9千円 前年度予算(40,342)から1363万円減額

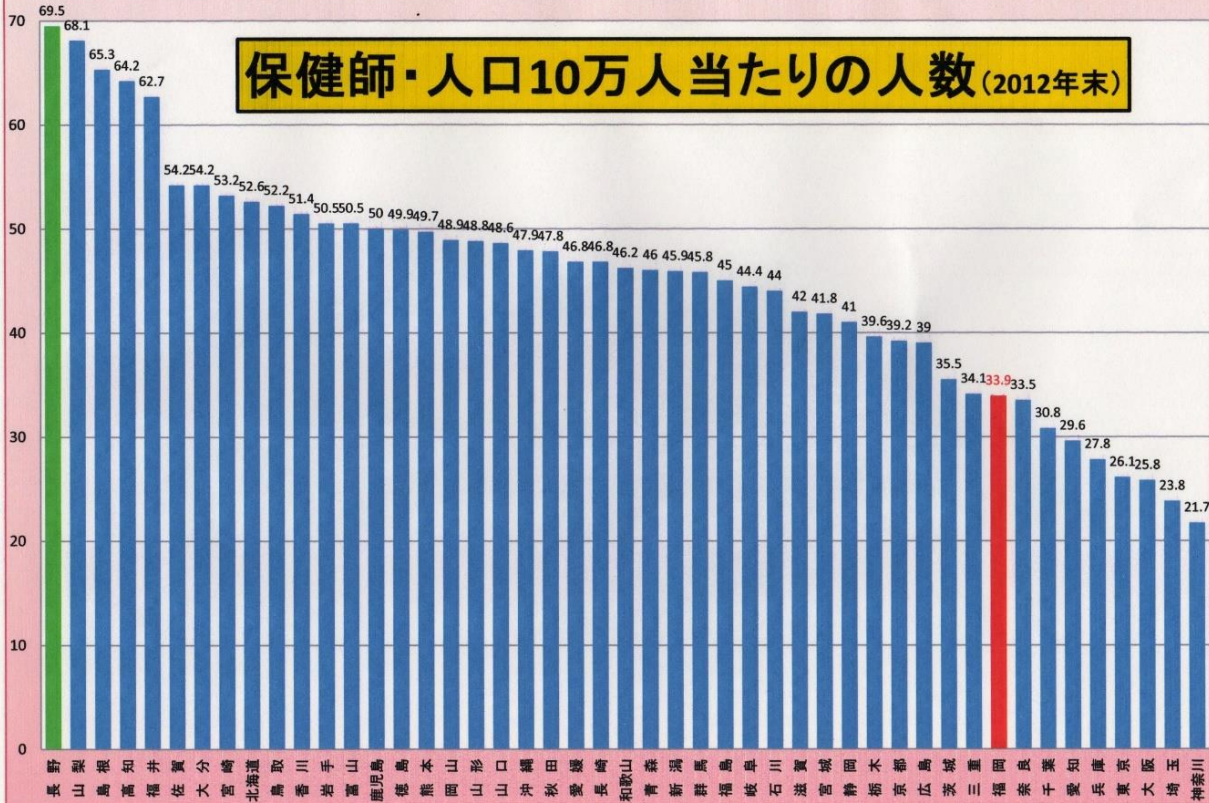
特定健康診査委託 2235万3千円 前年度予算(28,382)から602万9千円減額

他の自治体と比較した

人口10万人当たりの保健師の人数

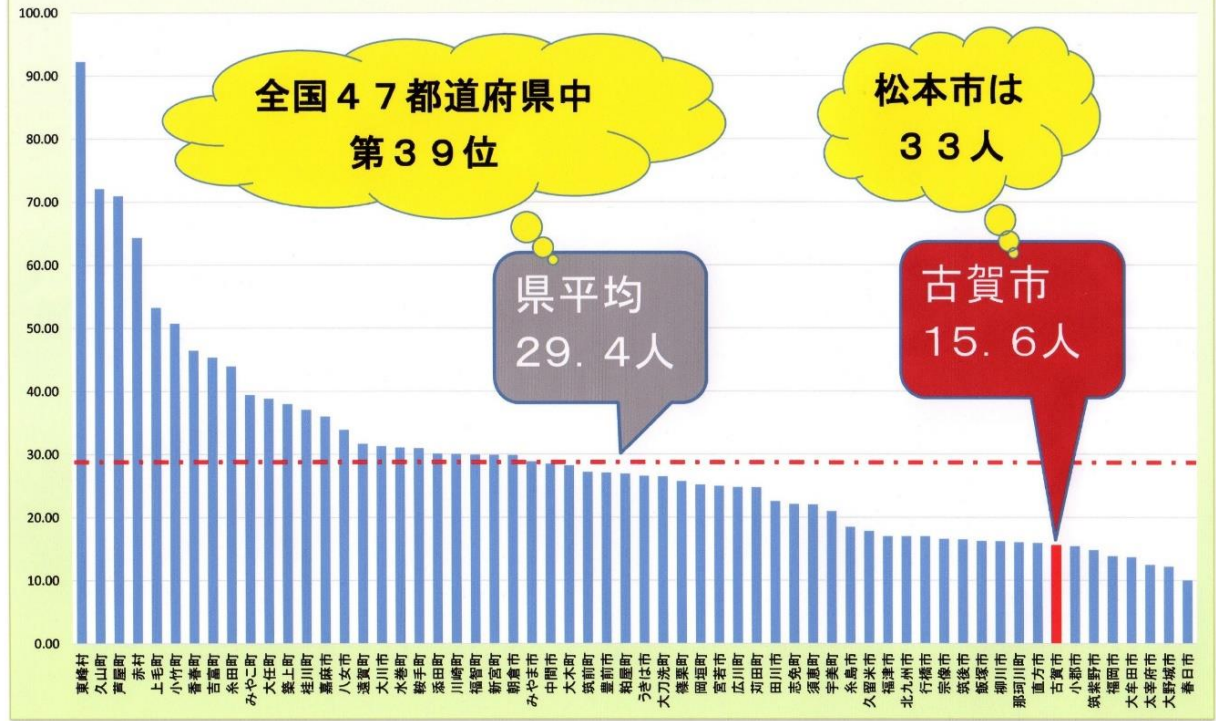
- ①福岡県は全国47都道府県で第39位と少ない
- ②古賀市は福岡県内60市町村で53位と少ない

保健師・人口10万人当たりの人数 (2012年末)



人口10万人当たり保健師の人数・福岡県市町村比較

(2015年5月)



健康と地域 ビジョン

(奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

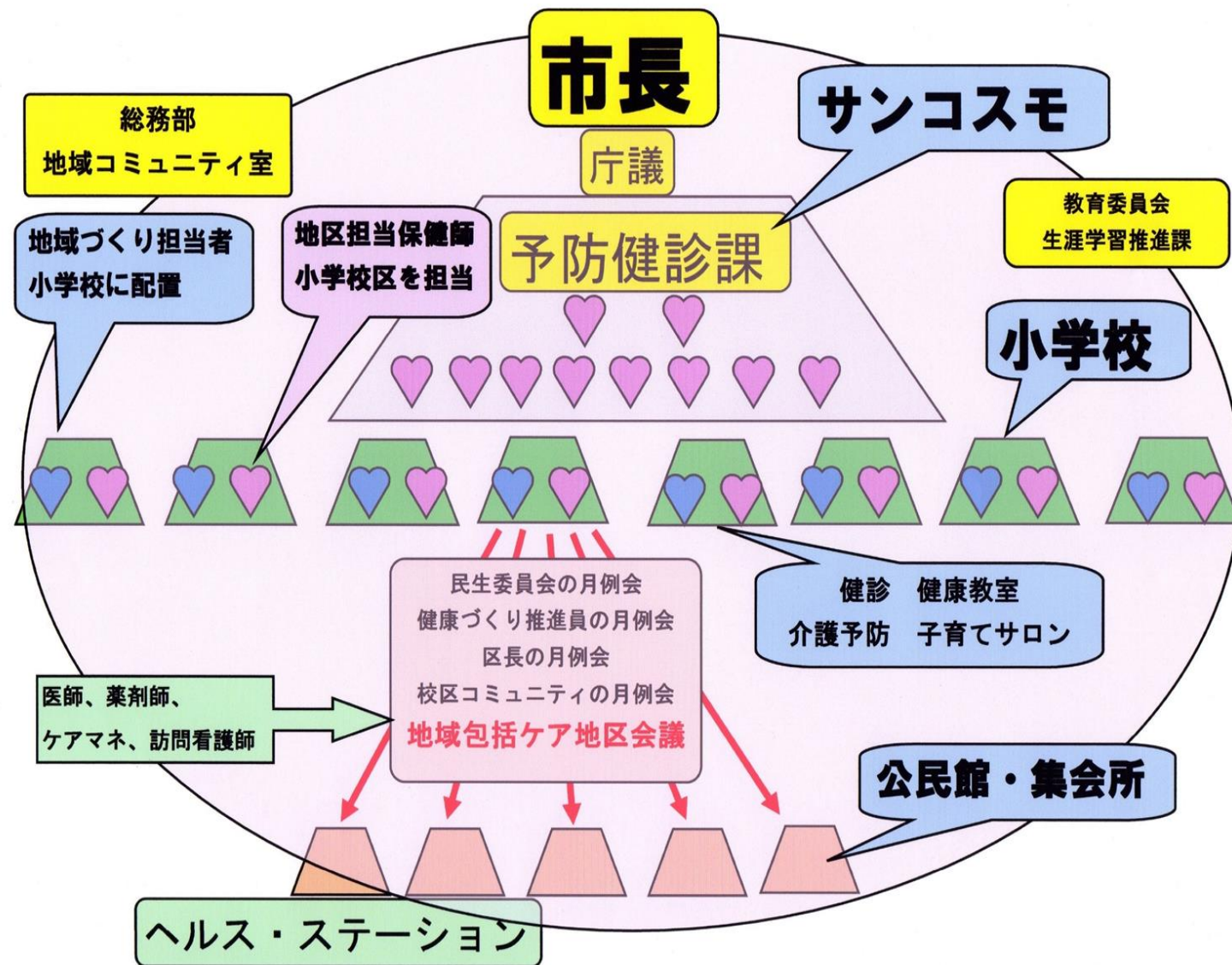
②子育て、子育て、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

施政方針・グランドデザイン発表会

市役所各課
前年度の実績報告書

サマー・デイスカッション

決算議会

予算編成説明会

市長記者会見

施政方針・グランドデザイン報告会

予算議会

予算編成作業

施政方針の作成

市民評価アンケート

市民100人委員会
各部に対応し毎月1回開催



健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育て、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

満足度
アンケート

- (1)健康・福祉
- (2)安全・安心
- (3)都市基盤整備
- (4)生活環境
- (5)産業・経済
- (6)教育・文化・スポーツ

5年に1度

毎年実施

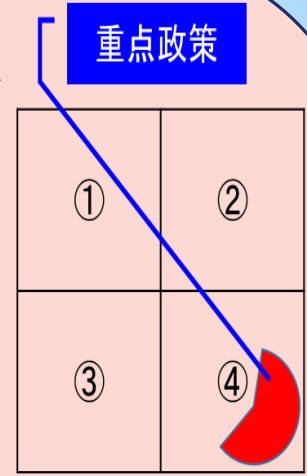
まちの姿
アンケート

私たちのまちでは、「子育て」の課題に積極的に取り組む活動や子育て支援のプログラムが充実し、安心して子どもを産み育てられる環境が整っている。

満足している
まあ満足している
あまり満足していない
満足していない

重要である
まあ重要である
あまり重要ではない
重要ではない

高
満足度
低



低 優先度 高

重点政策

十分達成されている	18
ほぼ達成されている	92
まあまあ達成されている	188
あまり達成されていない	79
ほとんど達成されていない	22
無回答	21
合計	420
達成度	3.0

職員採用
改革

職員採用説明会やSPI3の導入

自治体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
古賀市		SPI3能力検査 公務員試験対策不要		公表	申込	1次		2次	3次
春日市	公表	申込	1次	2次	3次	4次			
宗像市	公表			申込		1次		2次	3次
粕屋町			1次・SPI3	2次	3次				
粕屋町				公表		1次	2次	3次	古賀市と粕屋町 は前年度実績

職員採用説明会

チャレンジ枠

建築・土木ツアー

チャレンジ枠 公務員の枠にとらわれない
チャレンジ意欲あふれる人材

元気な職員枠 民間企業、市民活動、文化芸術等による高い特性もつ人材

職員採用
改革



6月21日の一般質問

古賀市は要項を7月に公表しているが春日市等は4月だ。早めに公表したらどうか。

春日市で実施している市長等による採用説明会やSPI能力検査は検討の価値があるのではないか。

功罪も合わせて検討したい。

良い人材の採用は重要なテーマであり労力を惜しむものではない。より良い方法を模索し、良いことは速やかに実行したい。



春日市採用試験今年も100倍超

昨年度から教養試験を廃止した春日市の採用試験に本年度、計8人の採用予定数に対して949人が応募があった。競争率は118倍で昨年度(110倍)を上回っている。「改革」の効果は2年も続いている。

公務員試験対策をせず、民間企業を志望する人でも受験できるようにし、多様な人材を採用するの「改革」の狙い。従来は教養試験だった1次試験は全員対象の面接(なり)2次試験ではSPIと呼ばれる総合能力試験を実施する。

本年度の試験区分ごとの応募者数は、一般事務(採用予定4人)が834人、(備置1人)が43人、保育士(2人)が47人、文化財技師(1人)が2人、1次試験は7月1、2日にあり、職員30人が面接官を務める。係長と主任として1組に働きたいかどうかを10月中旬に発表の予定。市人事課の橋山政彦課長は「これだけ応募があると、優秀な人材の採用が期待できる」と話した。(鎌田浩二)

春日市の競争率
2016年度 110倍
2017年度 118倍

古賀市の競争率
2016年度 23.7倍

大卒程度は156人応募
99人が受験

平成28年度 古賀市職員採用試験実施状況

単位：人

区分	採用予定者	応募状況	一次試験		二次試験		三次試験 (最終試験)	
			9月18日(日)		11月6日(日)		12月3日(土)	
			受験者	合格者	受験者	合格者	受験者	合格者
一般事務A (大卒程度)	4	156	99	27	24	8	8	5
一般事務B (障がい者)	1	8	6	1	1	1	1	1
一般事務C (高卒程度)	1	18	14	6	6	2	2	1
一般事務D (建築)	1	6	4	1	0	0	0	0
一般事務E (土木)	1	2	1	0	0	0	0	0
合計	8	190	124	35	31	11	11	7

応募は23.8倍

受験は15.5倍

建築土木は採用0



新規採用職員
育成

採用後半年間、手書きによる業務日誌や自主学習を進めるフレッシューズノートを活用したらどうか。

先輩職員によるサポーター制度の定着を図りたい。
市役所職員として最低限の知識を備えるためのデータブックを全職員に配布する。



6月21日の一般質問

自主学習で議会のことは勉強した方がいいです。

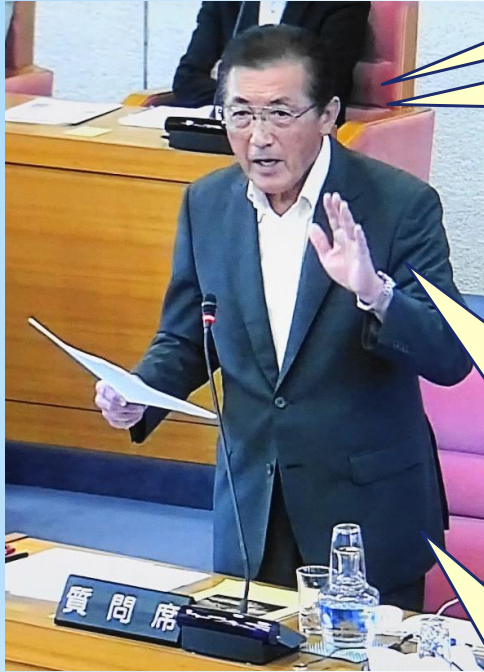
平成26年度 新規採用職員
フレッシューズノート

所 属	職 名	氏 名	内 線

<職場研修担当者>
職 名 氏 名

手書きの日誌は賛成です。

職員不祥事
問題



6月21日の一般質問

職員の不祥事等をどう思うか。

記者会見をやるべきではないか。

停職6ヶ月、課長補佐への降任処分という懲戒免職の次に重たい処分としたのは飲酒運転をしたからか。

市長、三役の減給処分は最低必要だったのではないか。飲酒運転撲滅の声を上げていないのは不思議だ。

不信感、不安感を与え申し訳なく思う。職員全員が、服務規律の徹底、綱紀の保持に努める。

緊急記者会見はやっていないが定例（記者懇談）会で説明している。

飲酒運転したと判断している。

失錯行為という論理的に説明できない行為であり、通常の飲酒運転とは違うと考えている。飲酒運転撲滅は今後も取り組む。



事件当日の状況、相手方への謝罪等誠意ある対応を行っていること、また、これまで処分歴がないこと、職員の勤務態度、他自治体での処分事例、なおかつ検察の判断として不起訴となった事実を踏まえ、総合的に判断し、免職の次に重い「停職6ヶ月」という処分を下した。（6月23日談話）

一般質問の二日後にホームページで談話を発表した。そこには飲酒運転のことは全く触れていない。なぜ免職の次に重たい処分にしたのか理由を避けている。

尊敬するリーダー

1960年代の岩手県沢内村の実践に学ぶ

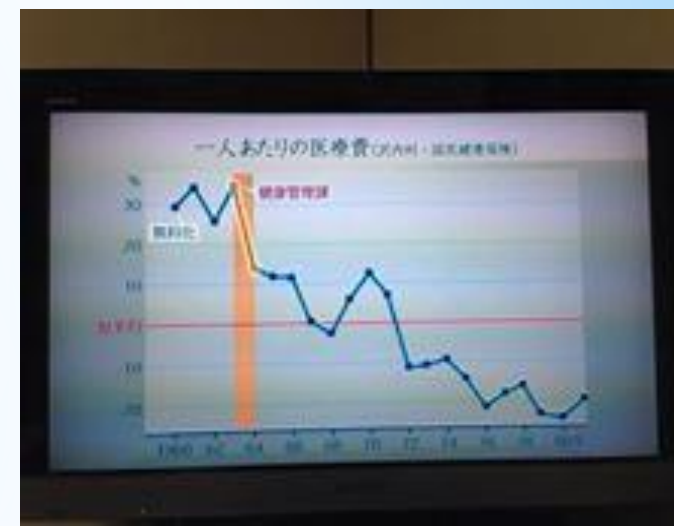


「村民の生命を守るためには命を懸ける」
「国がやらないなら私がやる」という政治理念にもとづき医療費の無料化を行った岩手県沢内村の深沢晟雄（ふかさわ まさお）村長



沢内村の生命行政を支えた保健師の活動

乳児死亡率ゼロを達成した原動力が保健師



医療費無料化の後、健康管理課（医師が課長で保健師等で構成）を設置し、村民の健康データをすべて集め、医療費を削減することができた

尊敬するリーダー



菅谷市長を表敬訪問

「市長は戦略を語り、肉づけは職員が頑張ってくれる。あとはほめるだけ。」

「医療人としての視点」

「金太郎飴の政策。地方が国を変える。地方から世界に発信する。」

※市長学を学べたことは大きな収穫だった。

2015年10月20日

ご清聴ありがとうございました！

みなさんのご意見を
ぜひお聞かせください！